



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

アーカイブとは？公文書は民主主義の基盤。 身近な例からその在り方を考える

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。



2021.09.02

地域・観光

死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌

56020Views

OTEMON VIEW編集部



2022.10.07

社会と暮らし

男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点

32914Views

OTEMON VIEW編集部



2021.03.05

社会と暮らし

「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。

31705Views

OTEMON VIEW編集部



2020.08.24

こころからだ

すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について

21731Views

OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

未来に向けて保存・継承すべき重要な記録(の集積)を指すアーカイブ (archive) は、アーカイブズ、アーカイブスとも呼ばれ、資料そのものだけでなく保管施設を意味することもあります。近年はデジタル化されたアーカイブ資料も増え、従来の紙媒体の保存に加えて、クラウド保存など利便性が向上しています。アーカイブとはそもそも何のためにあるのか？アーカイブズや公文書の役割を社会的見地から研究する社会学部の藤吉圭二教授による解説です。

(以下は主なポイント)

アーカイブの定義とは

○単なるコレクションとは違う、アーカイブの定義
○電子化でどう変わる？ デジタルアーカイブとは
暮らしに生きるアーカイブ。民主主義の基となる公文書に学ぶ

○改めて考える。公文書をアーカイブ化する意義
○アーカイブの存在は民主主義のベースである

アーカイブを生きる資料として活用する施設

○アイデンティティをつくる歴史的資料としての役割
○重要性を増すアーキビストの存在

何のためのアーカイブか。身近な例から考える

○仕事は属人化せず、継承する観点が大事
○「保管することが目的ではない」抜け落ちがち視点

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2998/>

2023.10.04

OTEMON VIEW編集部 | 社会と暮らし



アーカイブとは何か？ 公文書は民主主義の基盤。身近な例からその在り方を考える



藤吉 圭二 (ふじよし けいじ)

追手門学院大学 社会学部 社会学科 / 大学院 現代社会文化研究科 現代社会学専攻

教授

専門：社会学、アーカイブズ学

アカウントビリティ アーカイブ アーカイブズ アーキビスト デジタルアーカイブ
三権分立 保存 公文書 継承 記録

記事イメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-641-9590

仲西・織田